

令和 8 年度 学校の部活動に係る活動方針

(静岡県立浜松大平台高等学校全日制)

1 本校の学校経営計画における部活動の位置付け

スクールミッション	校訓「未来を拓く」のもと、キャリア教育を推進し、多様な進路希望に対応する充実した教育環境を有する浜松地区の全日制総合学科の高校として、3年間を貫いた探究活動を柱としながら、6つの系列をはじめとする多様な学びの機会（教科・科目）を自ら選択し、教科横断的な視点・学力を獲得できる総合学科の強みを生かした教育を通して、コミュニケーション能力、様々な視野・感受する力、デザイン思考力等を身につけ、地域のリーダーとして、地域社会を支え、国内外で活躍できる人材の育成を目指す。
スクールポリシー 具現化の柱	カ 部活動や特別活動の充実に努め、たくましさや豊かな心を培う。

2 部活動の成果目標と活動内容・具体的な取り組み

区 分	目 標
成 果 目 標	○「部活動等を通して責任感・協調性育まれた」80%以上。 ○「部活動は活発で充実した活動を行っている」80%以上。
活 動 内 容 と 具 体 的 な 取 組	○計画的で効率的な練習を行うように努める。 ○日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的な実践力を養う。 ○原則、週当たり2日以上以上の休養日を設定する。 ○1日の活動時間は、平日は2時間程度、休日は3時間程度とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とし、短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。 ○定時制との施設共用による管理運営上の必要性を鑑み、平日の最終活動終了時刻は19時とする。ただし、練習場所の整備や片付けに時間を要するため延長して活動する場合は、保護者の了解を得た上で、生徒の体調に配慮して行う。 ○長期休業中に一定期間のオフシーズンを設定する。 ○活動計画を保護者へ通知する。 ○生徒指導提要进行を遵守する。

その他留意事項

- (1) 週休日に練習や試合等でまとまった練習時間が必要となる場合には、過度な活動が連続しないように対応する。
- (2) 年度当初に年間活動計画を作成する。また、月間活動計画を作成し、前月末までに管理職に提出するとともに、生徒に周知（配布等）する。なお、長期休業中の活動については別に計画する。
- (3) 定期試験初日の1週間前から試験終了までを試験週間とし、その期間の部活動については、原則的に禁止とする。ただし、大会や発表会等を控える部については、校長の許可を得て、1日1時間程度の活動を認める。また、その場合の期間中の週休日、休日の活動については2時間程度とする。
- (4) 熱中症対策として生徒一人一人の様子を注視し、必要な休憩や水分補給をとるように対応する。また WBGT 湿度の測定結果を常に確認して活動する。(WBGT28℃以上 31℃未満：激しい運動中止、31℃以上：運動中止)